

テオクリュメノス(Theoclymenus)は[アルゴス](#)出身の予言者である。親類のひとりを殺して、アルゴスから逃げていた。彼は[ピュロス](#)で[テレマコス](#)に会い、[イタカ](#)まで同行した。彼はイタカの屋敷で、求婚者たちの死の運命を予言した。

## 系譜

- 父はポリュペイデス。

## 解説

- テオクリュメノスは[エウリピデス](#)「[ヘレネ](#)」に登場するエジプトの王の名前でもある。

## オデュッセウスでのエピソード

- テオクリュメノスは親類のひとりを殺して、故国から逃げていた。彼は[ピュロス](#)で[テレマコス](#)に会い、船に乗せてくれるよう頼んだ。また、船の上で、鳥の予兆を読み、[テレマコス](#)が[イタカ](#)の王になるだろうと予言した。イタカに着くと、[ペイライオス](#)の屋敷に案内された。（[第15歌](#)）
- [イタカ](#)の屋敷で[ペネロペ](#)に、「[オデュッセウス](#)王はすでに故国に帰っておられます。どこにおいでか分からぬが、わたしは船上で予兆を見たのです」と言った。ペネロペは信じようとしなかった。（[第17歌](#)）
- 彼は求婚者たちの死を予言した。求婚者たちは彼を笑った。（[第20歌](#)）